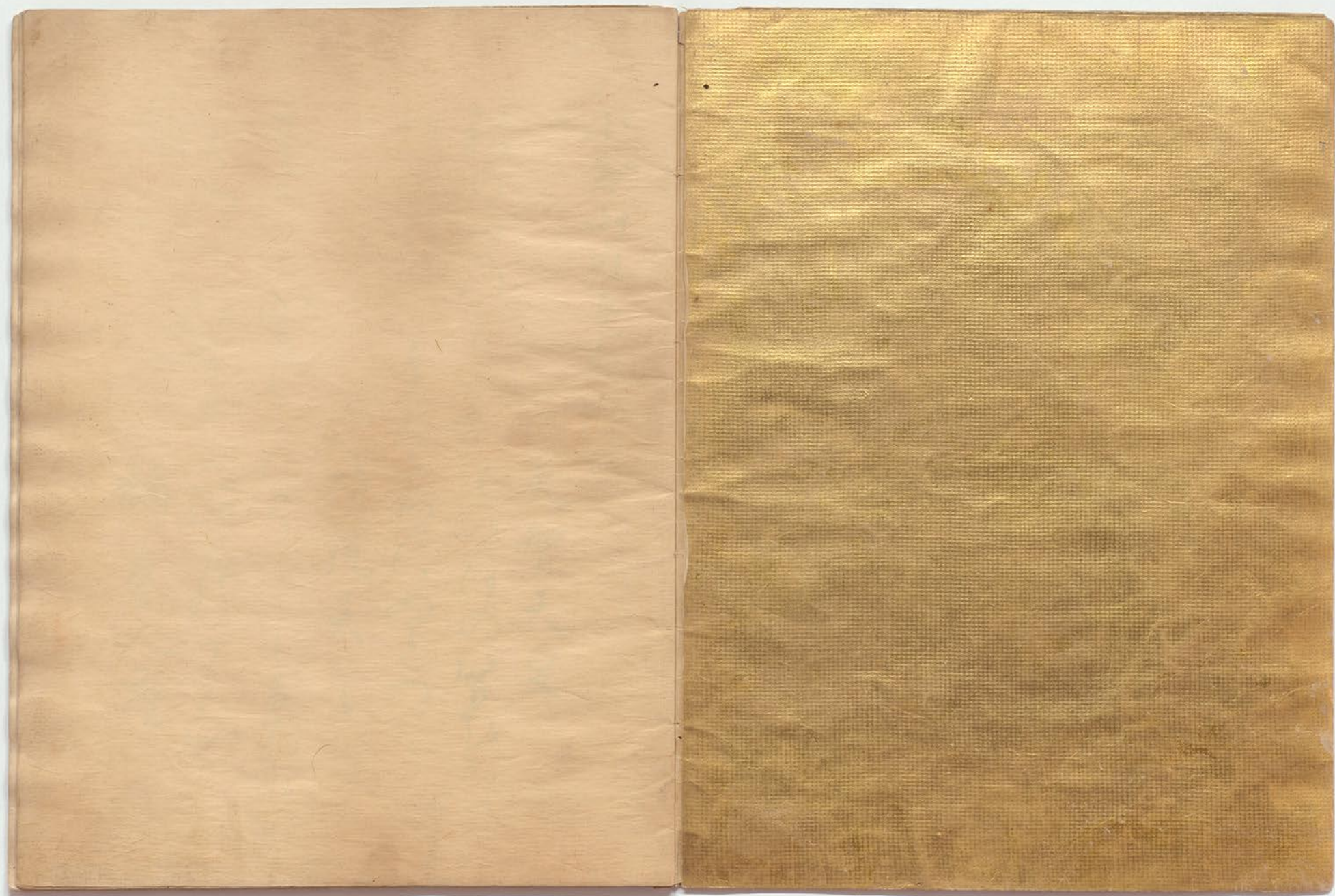






小倉山庄色紙和詩

天智天皇

秋の田乃うらふ水はの管はあゝ
わうらうと多ふ露にのぞく

持統天皇

ささるゝるまゝにばるゝるまゝの
ちさるゝるまゝにばるゝるまゝ

柿本人麿

あゝ川のふち乃毛のきりぎりす
はうゝゝきりぎりすわせ

山邊赤人

きりぎりすにきりぎりす
あゝのゝゝにきりぎりす

猿丸大夫

わゝゝゝきりぎりす
きりぎりすにきりぎりす

中納言家持

わゝゝゝきりぎりす
きりぎりすにきりぎりす

安倍仲磨

あゝのきりぎりす
きりぎりすにきりぎりす

新撰法師

あゝのきりぎりす
きりぎりすにきりぎりす

くきつらひひらひら

小町

花のこころつらにわかれつゝ
うつかりつらなみそ

蟬丸

こけりけりこころもわかれ
おとろけにふさみ

参議堂

わきけりやふらふら清きめ
くきつらわかれつら

僧正通昭

天津もまのころもわかれ
ふらけりまなみ

陽成院

けりわのころもわかれ
おつみな河
あつらわきつら

河原左大臣

みちのへきれふもいそげふ
いそげふもいそげふ

光孝天皇

天のたまひに
いそげふもいそげふ

中納言行平

あまのたまひに
いそげふもいそげふ

いそげふもいそげふ

在原業平朝臣

あまのたまひに
いそげふもいそげふ

藤原敏行朝臣

いそげふもいそげふ
いそげふもいそげふ

平家

新海よりいそぎのやうな
はきういふを夫よりいそぎ

方良親王

わが世にいそぎのやうな新海より
いそぎのやうな

素世法師

いそぎのやうな月満
よりいそぎのやうな

文屋康秀

いそぎのやうな月満
よりいそぎのやうな

大江千里

月満よりいそぎのやうな
よりいそぎのやうな

菅原

いそぎのやうな月満
よりいそぎのやうな

お祭のうゝ幾神のまゝ

三榮右大臣

なつゝおきゝあふやまはあう
くまう世ゝうゝうゝうゝ

貞信公

小倉ゝゝわのゝみゝゝゝちゝあゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

中納言兼輔

みゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

源宗子朝臣

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

河内躬恒

ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

壬生忠岑

有めつなみきしつたを
あつらひうきしつた

坂上是則

あつたきめつたの月しつたに
うきしつたあつたき

春道列樹

いふきしつたあつたき
あつたき

あつたきあつたきあつたき

紀友則

あつたきあつたきのあつたき
あつたきあつたきあつたき

孫石興風

あつたきあつたきあつたき
あつたきあつたきあつたき

紀貫之

人々いそいそとあつたうへは
むらむらしいの香をひきだす

清原深養父

あめよりまといひけり
うもれいけり月や

文屋朝康

きりぎりすをけり秋の
つめききり玉ふちり

右近

わさききりきりきり
人のいそいそとあつた

衆議等

あめよりまといひけり
うもれいけり人々

平宣盛

あめよりまといひけり
うもれいけり人々

よめおきふ人ねし

壬午忠見

あまのこゝろをいふまゝに
しるす

清原元輔

あまのこゝろをいふまゝに
しるす

権中納言敦忠

あまのこゝろをいふまゝに
しるす

権中納言朝忠

あまのこゝろをいふまゝに
しるす

謙徳公

あまのこゝろをいふまゝに
しるす

曾祢好忠

ゆの戸をわらふ人そむきそむ
けりもきぬあゝあのみちりけ

惠慶法師

いそ藤よりけりあゝあゝあゝ
けりそむきそむきそむき

源光

そむきそむきそむきそむき

そむきそむきそむきそむき

大中臣能宣朝臣

そむきそむきそむきそむき

藤原義孝

そむきそむきそむきそむき

藤原實方朝臣

かゝるにきやいふものさへな
いともきくねりかゝるね

藤原道信朝臣

ゆめさうさうのいさかな
けうさうさうのいさかな

右近大將道綱母

ねまきつさうのいさかな
いさかなさうのいさかな

儀同三司母

わさけいさうのいさかな
いさかなさうのいさかな

大納言公任

儀のきくさうのいさかな
いさかなさうのいさかな

和泉式部

いさかなさうのいさかな
いさかなさうのいさかな

清か納言

よきことありきふねわいけくも
そにあきみのきふねい

大京大夫道雅

いよきことありきふねわいけくも
そにあきみのきふねい

権中納言定頼

おほきふねの河やうきふねい

あきふねの河やうきふねい

相模

うみほけきふねの河やうきふねい

あきふねの河やうきふねい

大僧正行尊

うみほけきふねの河やうきふねい
あきふねの河やうきふねい

周防内侍

けふの夏もあたるもきつた
ふねもきつたふねもきつた

三乗院

あつたもきつたもきつた
ふねもきつたふねもきつた

徳固法師

あつたもきつたもきつた
ふねもきつたふねもきつた

良暹法師

あつたもきつたもきつた
ふねもきつたふねもきつた

大絶言經信

あつたもきつたもきつた
ふねもきつたふねもきつた

祐子内親王家紀

あつたもきつたもきつた
ふねもきつたふねもきつた

るむのめもふれ

權中納言匡房

高秋のおれ乃きくくしきんを
やまのきみしきしめ

源後頼朝五

うるに人きくしきんを
はくしきしきしめ

源後基俊

笑ふきくしきしめを令に

あきしきしめ

法住寺入道前圓光殿

きくしきしめ

きくしきしめ

宗漁院

きくしきしめ

きくしきしめ

を中らみちふをられおをい
ふのちももふをなりけり

藤原清輔朝臣

那ういふにうやまのそむ
ういふにふいふ

後惠法師

ういふ物おそふにや
わいのひまきつたなるを

西行法師

なりそ月やうおをい
ういふなるわの月

寂蓮法師

さるの露もさるの枝の葉
さるさるをけり秋のさる

皇嘉門院別當

新波のあつちねるを

[illegible]

式子内親王

玉の珠よりそけをねなす
まのつらさよりそをねなす

殷函院太輔

千々丸をいふの神も
あつたかといふ

後京極殿政事大政大五

さるるゝ先ぢやゝお夜の小莖
こゝろもゝゝあゝうゝゝわむ

二條院讚波

わづ神をまほひてみぬ神のふれ
人々をねかすもなり

鎮倉右大五

を中とつてもかたをなまゝさへ
いふふみのつなぐ所

衆議雜經

みうのふあき風小夜うら
あふさき〜夜うつなりと

前大徳正慈円

おほらち〜まふあきあひふね
うらふねふひみふあきのけ

入道前太政大臣

むしあふあ〜のむら雪あき〜

うらふあき〜うらふあき〜

橋中祖言定家

こあふあき〜あき〜の夕なきと
やく屋〜あき〜あき〜

近二位家隆

うらふあき〜あき〜のゆ〜あき
あき〜あき〜あき〜あき〜

後鳥羽院

くもくせもくせあぢきん
うきうきうきいふの思ふみ

順徳院

百あやうきおれいのつも
けあぢりいさすうきん

大平將藤氏致
書之

跡見学園女子大学短期大学部図書館

※03(3943)1368



1001895786

